

# +1

## (プラスワン)

No.4

〒658-0047 神戸市東灘区御影3-7-11  
日本キリスト教団 東神戸教会牧師  
2015年4月発行



### 「アリの世界」

牧師 横山順一

今年の春の選抜高校野球、入場行進曲に選ばれたのは「レット・イット・ゴー」(正しい発音は、レリゴー)、御存じ、ディズニー映画「アナと雪の女王」のテーマだ。  
♪ありのままでき、と歌い上げるフレーズは、切なく思いが込み上げる名曲だ。

古くはビートルズがレット・イット・ビー、あるがままで歌った、知らぬ者はいない呼びかけ。背景に聖書があり、信仰があることもよく語られて今日に至っている。

春を迎えると、またぞろ他の虫たちと共に活動開始する「アリ」。アリほど、働きが分業している生きものもないのでは。

食べ物を運んで行列をなす、あの働きアリは、生殖機能を持っていない(つまり無性の)雌だそう

だ。  
女王アリと子孫を残すための雄

アリは、まさにその行為だけの存在である。

人間の目から見たら、「そんなアリ？」と思える分業。しかも、働きアリでありながら、働かない連中がいつも二割いることが、知られて久しい。アリ得ないと思ってしまう。

一生懸命働く、無性のアリたち。その大きさはせいぜい五ミリ以下である。

五ミリ程度の石や砂粒は、どこにでも存在する。考えてみると、凄いことだ。自分の大きさと同じかそれ以上の大きさの障害物が、至るところに点在しているながら、彼らはそれをモノともしないのだ。

哀しいかな、彼らは考えない。ただただ与えられた本能に従い、己に定められた役割だけを淡々とこなして生きる。

目は、見えない。代わりに触覚がとても発達していて、匂いであらゆる情報を得ている。見ないで信じる力を持っている。不思議な国のアリっす！

ありのまま生きよう、と口にする

るのは難しくはない。だけど、ありのままってホントは何だ？

自分のしだい放題？欲望のまま？ならば、それは単なるワガママではないか。

それでもそのように生きる自由は、もちろんあるけれど。自分の好きなように生きるのも、大切な権利のように思えるのだけだ。

好みに生きて良いのだ。したいことをしたって良いのだ。何も考えずに生きる時があっても良いのだ。

無理にアリと比べても意味はあまるまい。比べる必要もない。が、それぞれの役割に生きるアリ、欠けたものを補って生きるアリに、しばし思うことはある。「アリは確かにありのまま生きていく」と。

ちよつとした結論、

「神さまは、アリも私たち人間も、どちらも愛して作られた。そしてそれぞれに用いて下さる。」

この事を知って、受け入れて生きる事が「ありのまま」ではないかと思う。